

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10055492 A

(43) Date of publication of application: 24.02.98

(51) Int. Cl **G08B 5/22**
G06F 13/00
G08B 23/00
G08B 25/01
H04L 12/28

(21) Application number: 08210684

(22) Date of filing: 09.08.96

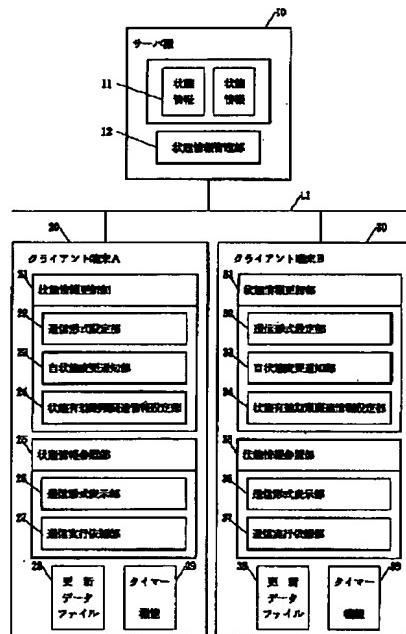
(71) Applicant: FUJITSU LTD

(72) Inventor: MATSUMOTO YASUHIDE
OKUYAMA SATOSHI
OKADA SUMIYO
KANAI TAKESHI
FUKUYAMA NORIYUKI
MANABE AI

(54) COMMUNICATION STYLE DISPLAY DEVICE**(57) Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable communication in optimum communication style corresponding to the condition of a user on the side of call termination at that time conveniently for himself by presetting the communication style desirable for the user corresponding to his condition and displaying that style to a client terminal.

SOLUTION: A communication execution request part 27 of a client terminal A20 requests state information 11 to server equipment 10. A state information managing part 12 of the server equipment 10 receives the request from the client terminal A20 and sends out the state information to the client terminal A20. Based on the state flag and update time of the state information 11 returned from the server equipment 10, a screen is updated and any desirable communication style and attribute information in a present state shown by the state flag of the state information is selected from communication style related information and displayed on a screen. The user of the client terminal A20 selects any one communication style out of the desirable communication styles displayed on the screen.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-55492

(43)公開日 平成10年(1998)2月24日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 08 B 5/22			G 08 B 5/22	D
G 06 F 13/00	3 5 1		G 06 F 13/00	E
G 08 B 23/00	5 3 0		G 08 B 23/00	E
	25/01		25/01	A
H 04 L 12/28			H 04 L 11/00	D
			3 1 0	
			審査請求 未請求 請求項の数 1	OL (全 17 頁)

(21)出願番号 特願平8-210684

(22)出願日 平成8年(1996)8月9日

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

(72)発明者 松本 安英

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

(72)発明者 奥山 敏

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

(74)代理人 弁理士 井桁 貞一

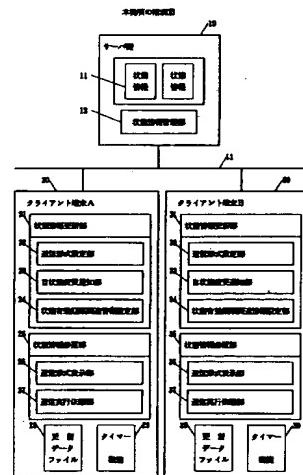
最終頁に続く

(54)【発明の名称】通信形式表示装置

(57)【要約】

【課題】 従来、利用者が他の利用者とコミュニケーションを行う際に、他の利用者の状態と表示される通信形式が関連しておらず、さらに通信形式の選択を行うのが発信側であったために、選択された通信形式が必ずしも着信側の利用者にとって都合の良いものとは限らなかった。

【解決手段】 前項の課題は、状態と通信形式に関する情報が関連せず、着信側の利用者が状態に応じて希望する通信形式が不明であるために発生している。本発明では、各利用者が状態に応じて希望する通信形式を予め設定し、クライアント端末にて表示させることにより、着信側の利用者にとって都合の良い、換言すればその時の自分の状態に応じて最適な通信形式でコミュニケーションが行われることを可能とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 サーバ機と複数の特定されたクライアント端末を含むネットワークシステムにおいて、各クライアント端末は他の利用者の状態を表示する表示部を有し、この表示部は他の利用者が状態毎に希望する通信形式を前記サーバ機から受け取って表示するようにしたことを特徴とする通信形式表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、複数のクライアント端末から共通のサーバ機を利用して情報を共有化するネットワークシステムの改良に関し、具体的には各クライアント端末において各利用者の状態を参照することができるとともに、他の利用者が状態毎に欲する通信形式をも参照できるようにすることにより、コミュニケーションを円滑に行えるようにし、オフィス活動の効率化を図る通信形式表示装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の通信形式表示装置の例として、特開平8-87685号公報に開示されているものがある。特開平8-87685号公報の構成は、複数の端末をネットワークで接続したシステムであり、クライアント端末の利用者から申請された在席状態および通信形式（電話、FAX、メールなど）とその属性情報（電話番号やFAX番号、メールアドレスなど）がサーバ機で一元管理されている。クライアント端末の利用者はサーバ機で管理されている他の利用者の在席状態を参照することが可能であり、さらに他の利用者および通信形式を選択することにより、選択された通信形式に必要な属性情報をサーバ機より取得し、コミュニケーションを行うことを可能としている。ただし、利用者の在席状態の確認と通信形式の選択とはそれぞれ独立した機能であり、サーバ機で管理されている在席状態と通信形式との関連性は無い。このため、利用者は他の利用者の在席状態の確認を行ったあと、通信形式を選択しコミュニケーションを行うことが可能であるが、表示される通信形式は着信側の利用者が状態に応じて希望するものではなく、ひいては着信側の利用者が状態に応じて希望する通信形式が選択されるわけではない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このように、従来の技術では、通信形式の表示は着信側の利用者の状態とは無関係であり、なおかつ通信形式の選択の主体も発信側であり、選択された通信形式が必ずしも着信側で都合が良いとは限らなかった。例えば、利用者が不在の場合や、在席であっても電話を受けれる状態でない場合に、発信者側の選択によって連絡を試みようとし、また出張等で不在の場合には、電話やFAXでのコミュニケーションは不可能だがメールは可能という状態であるにも関わらず、それが発信側に認識されずに連絡不能になるといつ

た問題点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 前項の課題は、状態と通信形式に関する情報がなんら関連せず、着信側の利用者が状態に応じて希望する通信形式が不明となっているために発生している。本発明では、各利用者が状態に応じて希望する通信形式を予め設定し、クライアント端末にて表示することにより、着信側の利用者にとって都合の良い、換言すればその時の自分の状態に応じて最適な通信形式でのコミュニケーションが可能となる。

【0005】 即ち、本発明は、サーバ機と複数の特定されたクライアント端末を含むネットワークシステムにおいて、各クライアント端末は他の利用者の状態を表示する表示部を有し、この表示部は他の利用者が状態毎に希望する通信形式を前記サーバ機から受け取って表示するようにしたことを特徴とする。

【0006】

【発明の実施の形態】 状態情報として在席状態を管理するシステムを例に、説明する。本構成は、複数のクライアント端末20, 30と、それらを接続するサーバ機10とかなり、各クライアント端末20, 30およびサーバ機10はLAN(L1)で接続されている。

【0007】 サーバ機10は、状態情報11と状態情報管理部12を有する。状態情報11は、各クライアント端末20, 30の利用者毎にファイル化され、各利用者の在席状態（状態フラグ41）、在席状態の更新時刻42および状態有効期限関連情報43、通信形式関連情報53を管理している。図2に基づいて、管理されている各項目について説明する。

【0008】 1. 名前40：当該状態情報11を登録した利用者名

2. 状態フラグ41：利用者の在席状態を格納する。本例では、在席：“1”、不在：“2”、会議中：“3”、出張中：“4”、電話中：“5”と記号化している。

3. 更新時刻42：状態情報11を更新した日時を格納する。

【0009】 <状態有効期限関連情報43>

4. デフォルト通信形式45：状態フラグ41に設定された在席状態に対応する通信形式が通信形式関連情報53に設定されていない場合に、デフォルト値として通知すべき通信形式を設定する。

【0010】 5. 属性情報46：4. 項の通信形式45を実行する際に必要となる属性情報を格納する。通信形式が電話の場合は電話番号、メールの場合はメールアドレスなどが該当する。

6. フラグA48：状態有効期限関連情報43の設定を有効とするかどうかを識別するフラグを格納する。状態有効期限関連情報の設定を有効とする場合は“1”、無効とする場合は“0”を設定する。

【0011】 7. 有効時刻49：利用者より申請された在

席状態の変更時刻を格納する。

8. フラグB50：在席状態を自動変更する際、直前の状態52に戻すのか、次の状態51にするのかを格納しておく。次の状態51にする場合は”0”、直前の状態52に戻す場合は”1”を設定する。

【0012】9. 次の状態51：利用者より申請された次の在席状態を格納しておく。設定内容は2. 項状態フラグ41と同様である。

10. 直前の状態52：在席状態（状態フラグ41）が更新される際に、直前の在席状態（状態フラグ41）が格納される。設定内容は2. 項状態フラグ41と同様である。

【0013】<通信形式関連情報53>

11. 状態n54：希望する通信形式56を設定する在席状態を格納する。設定内容は2. 項状態フラグ41と同様である。

12. 優先度n55：該当在席状態（状態n54）内で希望する通信形式56の優先度を格納し、1から昇順に並べる。

【0014】13. 通信形式n56：希望する通信形式を格納する。「電話」、「メール」、「ファックス（FAX）」などを設定する。

14. 属性情報n57：13. 項の通信形式56を実行する際に必要となる情報を格納する。5. 項の属性情報46と同様である。

状態情報管理部12は、前記状態情報11の管理及びクライアント端末20, 30との送受信を行う。

【0015】各クライアント端末20, 30は、状態情報更新部21, 31および状態情報参照部25, 35を有する。状態情報更新部21, 31は、各利用者が希望する通信形式56を設定する通信形式設定部22, 32、および、利用者の在席状態を設定する自状態変更通知部23, 33、在席状態の自動変更を設定する状態有効期限関連情報設定部24, 34を有する。

【0016】状態情報参照部25, 35は他の利用者の在席状態を表示する通信形式表示部26, 36および通信の実行を依頼する通信実行依頼部27, 37を有する。図3は、本システムでのクライアント端末の画面例である。画面61は、自状態変更通知部23, 33で利用者の在席状態の表示／更新を行う際のインターフェース画面であり、右側の「在席」、「不在」などの在席状態を表す言葉の左側にある○印をマウスなどで選択することにより、自分の在席状態を設定する。在席状態の設定により、在席状態（状態フラグ41）がサーバ機10へ送出され、設定された在席状態を表す絵が左側に表示される。

【0017】画面62は、画面61で在席状態の変更を行った時の更新時刻42を表示している。画面63は、利用者が状態毎に希望する通信形式56を設定する際に選択するボタンであり、通信形式設定部22, 32が起動され、図5の通信形式設定画面が表示される。画面64は、利用者が状態有効期限関連情報43を設定する際に選択するボタンで

あり、状態有効期限関連情報設定部24, 34が起動され、図8の状態有効期限関連情報設定画面が表示される。

【0018】画面65は、通信形式表示部26, 36により参照相手の在席状態が表示される画面であり、参照相手利用者毎にその名前40と在席状態（状態フラグ41）とそれを表す絵及びその在席状態の更新時刻42が表示されている。画面66は、画面65に表示された参照相手の在席状態を最新状態に更新する際に選択するボタンであり、通信形式表示部26, 36が起動され、画面65に表示されている全参照相手の在席状態が再表示される。

【0019】画面67は、画面65で表示されている参照相手への通信機能を実行する際に選択するボタンであり、予め画面65で通信相手を特定しておくことにより、通信実行依頼部27, 37が起動され、特定された通信相手が予め申請している状態毎に希望する通信形式56からその時点の状態に対応する通信形式56が表示される（図1-1）。

【0020】次に、各機能をフローチャートを使用して、詳細に説明する。図4はクライアント端末20, 30の通信形式設定部22, 32の処理を示すフローチャート、図6はクライアント端末20, 30の自状態変更通知部23, 33の処理を示すフローチャート、図7はクライアント端末20, 30の状態有効期限関連情報設定部24, 34の処理を示すフローチャート、図9はクライアント端末20, 30の通信形式表示部26, 36の処理を示すフローチャート、図10はクライアント端末20, 30の通信実行依頼部27, 37の処理を示すフローチャート、図12はサーバ機10の状態情報管理部12の処理を示す処理フローチャートである。

【0021】まず、利用者が状態毎に希望する通信形式56を申請する際の手順を説明する。利用者が、図3の画面63の通信形式設定ボタンをマウスなどで選択することにより、通信形式設定部22, 32が起動され、通信形式設定画面（図5）が表示される（図4 ステップ202）。利用者は、画面72で申請する在席状態を選択し、その状態54で希望する通信形式56を画面73で設定する。さらにその通信形式56を実行する際に必要となる属性情報57（電話ならば電話番号、メールならメールアドレスなど）を画面74で設定する。本例では、在席状態毎に希望する通信形式56は複数指定可能とし、画面上段で指定されたものほど希望する優先順位が高いものとして取り扱っている。設定を終えたら、更新ボタン75をマウスなどで指定することにより（図4 ステップ203）、通信形式設定部22, 32は、画面で設定された内容を取り込んで（図4 ステップ205）、サーバ機10へその内容を出し（図4 ステップ206）、クライアント端末20, 30上の更新データファイル28, 38に保存する（図4 ステップ207）。

【0022】サーバ機10の状態情報管理部12は、クライアント端末20, 30から送出されてきた内容を受け、状態

情報11中の通信形式関連情報53を更新する（図12 ステップ 704, 705）。図5の通信形式設定画面の例では、利用者（山本さん）が「在席」時に希望する通信形式56の設定を行っている。第一希望にメール、第二希望にファックス（FAX）とし、それぞれの通信形式56に必要な属性情報57を設定している。この内容は前記手順により、サーバ機10の状態情報11中の通信形式関連情報53の該当項目に格納される。

【0023】次に、利用者から申請された状態毎に希望する通信形式56を他の利用者が参照する際の通信形式表示手順を説明する。本在席状態管理システムでは、通信形式表示部26, 36 が起動された際に、予め参照相手として登録している利用者の状態情報11を取得するために状態情報参照要求をサーバ機10に送出する（図9 ステップ 502）。サーバ機10の状態情報管理部12は要求を受け、要求のあったすべての利用者の状態情報11をクライアント端末20, 30 に送出する（図12 ステップ 710, 711）。サーバ機10より返送されてきた状態情報11の状態フラグ41の値に基づいて各利用者の在席状態を画面65に表示する（図9 ステップ 503）。

【0024】クライアント端末A20の利用者が、図3の画面で山本さんに連絡をとろうとした場合を想定して、説明を続ける。図3の画面65で山本さんをマウスなどで選択し、さらに通信開始ボタン67をマウスなどで選択すると（図9 ステップ 508）、クライアント端末A20の通信形式表示部26は、通信相手が選択されていることを確認して（図9 ステップ 509）、通信実行依頼部27を起動する（図9 ステップ 510）。クライアント端末A20の通信実行依頼部27は、サーバ機10に対して山本さんの状態情報11を要求する（図10 ステップ 602）。サーバ機10の状態情報管理部12は、クライアント端末A20からの要求を受け、山本さんの状態情報11をクライアント端末A20へ送出する（図12 ステップ 710, 711）。サーバ機10から返送されてきた山本さんの状態情報11の状態フラグ41および更新時刻42に基づいて図3の画面65を更新するとともに、状態情報11の状態フラグ41の示す在席状態において希望している通信形式56および属性情報57を通信形式関連情報53から選択し、画面（図11）に表示する（図10 ステップ 603）。すなわち、画面11には、選択された山本さんの在席状態（状態フラグ41、本例では「在席」）とその更新時刻42およびその在席状態において希望する通信形式56（本例では、「メール」と「FAX」）およびその属性情報57（本例では、メールアドレスとFAX番号）が表示されている。希望する通信形式56が複数ある場合は上から優先順位の高い順に表示する（本例では、第一希望「メール」、第二希望「FAX」）。さらに、返送されてきた状態情報11をクライアント端末上のローカルファイルに保存する（図10 ステップ 604）。

【0025】クライアント端末A20の利用者は、画面に

表示された山本さんが「在席」時に希望している通信形式（図11）の中から、1つの通信形式を選択し（本例では第一希望のメールを選択している）、OKボタン94をマウスなどで指示する（図10 ステップ 605）と、クライアント端末A20の通信実行依頼部27は、通信形式56が画面92で選択されていることを確認し（図10 ステップ 607）、選択された通信形式56に必要な属性情報57を前記ローカルファイルに保存した状態情報11から取り込み（図10 ステップ 608）、通信制御部へ通信形式56および属性情報57を送出する（図10 ステップ 611）。この際、属性情報57が申請されていない場合、既存のデータベースを検索して属性情報57を取得する機能もある（図10 ステップ 609, 610）。

【0026】これにより、予め利用者により申請された状態に応じて希望する通信形式を、他の利用者が参照し、当該利用者の都合の良い、換言すればその時の自分の状態に応じて最適な通信形式でコミュニケーションが行えるようになる。参考までに、各利用者が自分の在席状態を設定する手順を説明する。自状態変更通知部23, 33 は起動されると、設定されている自状態を画面に表示する（図6 ステップ 302）。

【0027】利用者は図3の画面61にて、自分の在席状態をマウスなどで指示することにより（図6 ステップ 303）、画面から変更された在席状態を取得し（図6 ステップ 306）、画面を変更された在席状態に表示し直し（図6 ステップ 307）、更新された在席状態（状態フラグ41）と更新時刻42をサーバ機10へ送出する（図6 ステップ 308）。合わせて、クライアント端末20, 30 上の更新データファイル28, 38 にも保存する（図6 ステップ 309）。

【0028】サーバ機10の状態情報管理部12は、クライアント端末20, 30 から送出されてきた更新情報を受け、当該利用者の状態情報11の状態フラグ41および更新時刻42を更新する（図12 ステップ 706, 707）。さらに、本システムでは、在席状態の変更を自動的に行うようにする機能を有している。

【0029】利用者が図3の状態有効期限設定ボタン64をマウスなどで選択することにより状態有効期限関連情報設定画面（図8）が表示される（図7 ステップ 402）。本画面は、在席状態の自動変更を設定する他に、希望する通信形式56が設定されていない場合に表示すべき通信形式56と属性情報57の設定も包含している。在席状態の自動変更の設定について説明する。

【0030】期間設定の画面82では、何時在席状態の変更を行うかの設定を行い、変更時期は時間或いは時刻での指定が可能である。変更する状態の設定の画面83では、先に設定した時間にどの状態に変更するのかの設定を行い、「次の状態に変更する」のかあるいは「直前の状態に戻す」のかの指定が可能である。

【0031】次の状態を設定する画面84では、「次の状

態に変更する」と指定されている場合に、設定された指定期刻になった際に表示すべき在席状態51の設定を行う。希望する通信形式56が設定されていない場合に表示する通信形式56の登録について説明する。デフォルトの通信形式45の設定画面85では、各利用者が状態毎に希望する通信形式56が設定されていない場合に、表示する通信形式45と属性情報46の設定を行う。図2では、「在席：1」および「出張中：4」のときしか、希望する通信形式56が設定されていないので、それ以外の状態、例えば「会議中：3」に参照された場合は、このデフォルトの通信形式45として設定されている内容が、利用者の希望する通信形式として表示される。

【0032】これらの情報を設定したあと、図8の画面の更新ボタン86をマウスなどで選択すると（図7ステップ403）、画面から設定内容を取得する（図7ステップ405）。設定内容のうち、期間設定が時間で設定されている場合、時刻に変換する処理を行った（図7ステップ406,407）あとに、設定内容をサーバ機10へ送出する（図7ステップ408）とともに、クライアント端末20,30上の更新データファイル28,38に保存する（図7ステップ409）。さらに、期間設定されている場合は、所定の時刻にアラームが通知されるようにタイマーをセットする（図7ステップ410,411）。

【0033】サーバ機10の状態情報管理部12は、クライアント端末20,30から送出された情報に基づいて、状態情報11中の状態有効期限関連情報43を更新する（図12ステップ708,709）。ここで、設定された状態の自動変更是、セットされたタイマーからアラームが当該クライアント端末20,30の自状態変更通知部23,33に通知されることにより（図6ステップ304）、実施される（図6ステップ305）。図2の状態情報11の設定内容に基づいて説明すると、有効時刻49になつたらタイマーからアラームが通知され、それにより自状態変更通知部23,33は、フラグB50の内容を確認する。本例では“0”になっているため、次の状態51に設定されている在席状態（4：出張中）に状態フラグ41を更新し、あわせて画面61の表示も変更し、フラグA48に“0”を設定し、状態有効期限関連情報43を無効にする。

【0034】以上が本実施例の説明である。なお、実施例の変形として、以下に示す場合でも本発明の実施は可能である。クライアント端末20,30の状態情報更新部21,31や状態情報参照部25,35およびそれらに含まれる各機能は、同一アプリケーションとして1つのプログラムで包含されていても良い。

【0035】サーバ機10上の状態情報11についても、各利用者毎に1ファイルの形態となっているが、複数の利用者を1ファイルとして管理してもよいし、ファイルではなくメモリ上にテーブルなどの形式で展開されていてもよい。さらに、本例ではサーバ機10とクライアント端

末20,30の状態情報11の送受信をファイル単位に行っておりが、在席状態の確認時は状態フラグ41、希望する通信形式を表示する際は通信形式関連情報53の中の当該状態での希望する通信形式56および属性情報57など、必要最低限の情報のみを送受信するようにしてよい。

【0036】また、状態に応じて希望する通信形式56を複数申請できるようにしているが、1つしか申請できなくても良い。発信側で通信形式を選択する場合も、通信形式を1つだけでなく、複数選択してもよい。複数指定可能とした場合、選択された通信形式のすべてに対して実行を依頼する場合と、申請されている優先順位に基づいてコミュニケーション可能となるまで順番に実行する場合などがある。これにより、より確実に相手とコミュニケーションが可能となる。

【0037】また、図11の通信形式表示画面の変形例を図13に示す。図13の(a)は図11の画面に、さらに在席状態を表す絵も表示するようにしている。図13の(b)は、さらに各状態毎に希望する通信形式をすべて表示している例である。

【0038】

【発明の効果】以上により、本発明では、サーバ機と複数の特定されたクライアント端末を含むネットワークシステムにおいて、各利用者が状態毎に希望する通信形式をサーバ機から受け取って表示することを可能とすることにより、着信側にとって都合のよい、換言すればその時の自分の状態に応じて最適な通信形式でのコミュニケーションが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の構成図

【図2】サーバ機の状態情報の例

【図3】クライアント端末での画面例

【図4】クライアント端末の通信形式設定部の処理を示すフローチャート

【図5】クライアント端末の通信形式設定部の画面例

【図6】クライアント端末の自状態変更通知部の処理を示すフローチャート

【図7】クライアント端末の状態有効期間関連情報設定部の処理を示すフローチャート

【図8】クライアント端末の状態有効期間関連情報設定部の画面例

【図9】クライアント端末の通信形式表示部の処理を示すフローチャート

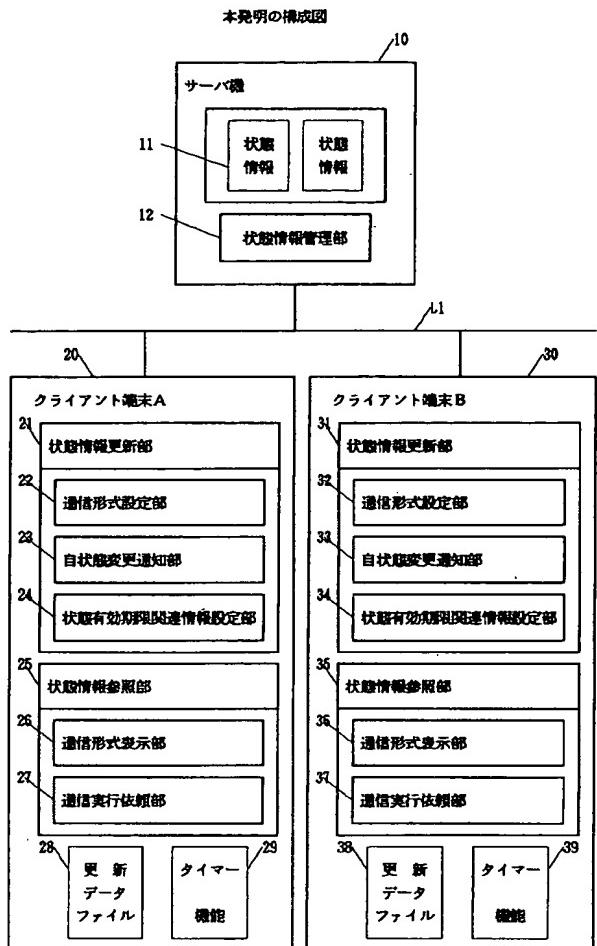
【図10】クライアント端末の通信実行依頼部の処理を示すフローチャート

【図11】クライアント端末の通信実行依頼部の画面例

【図12】サーバ機の状態情報管理部の処理を示すフローチャート

【図13】クライアント端末の通信実行依頼部の画面例の変形例

【図1】



【図13】

クライアント端末の通信実行依頼部の画面例

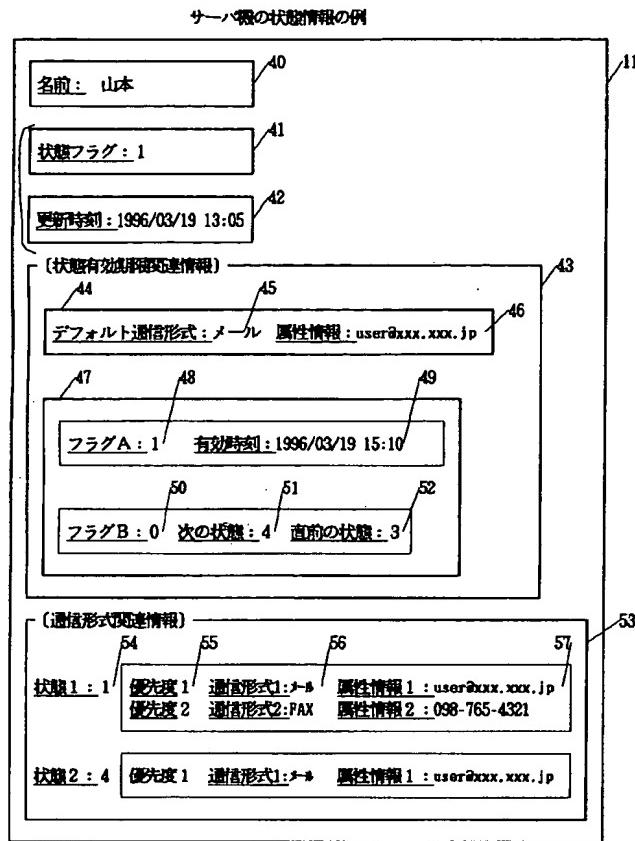
利用者名：山本	
在席	更新時間：96/03/19 13:05
通信形式	属性情報
在席	ファックス 03-765-4321
出張中	メール user@xx,xxx,yy
OK Cancel	

(a)

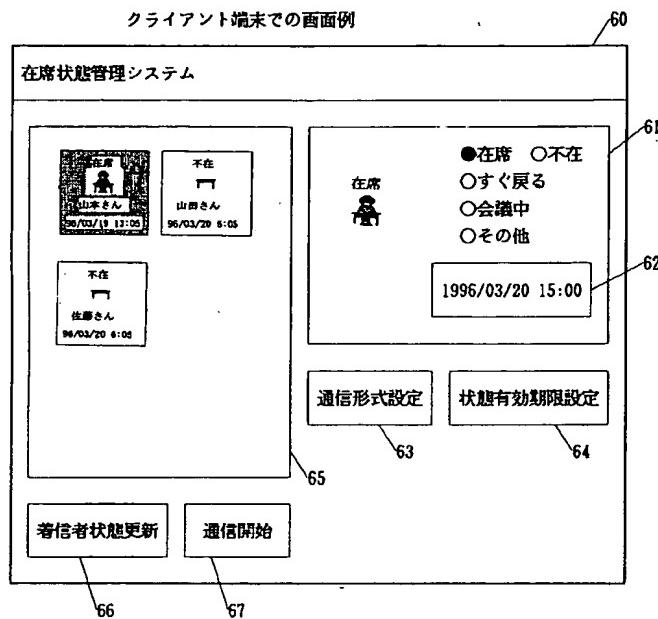
利用者名：山本	
在席	更新時間：96/03/19 13:05
通信形式	属性情報
在席	ファックス 03-765-4321
出張中	メール user@xx,xxx,yy
OK Cancel	

(b)

【図2】

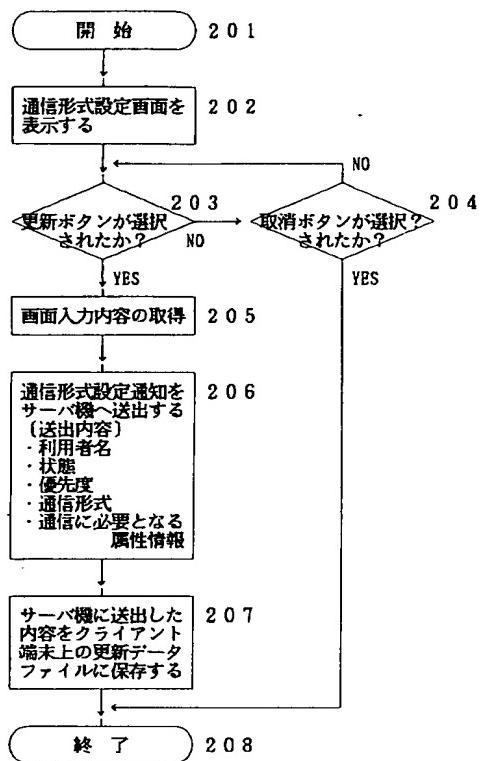


【図3】

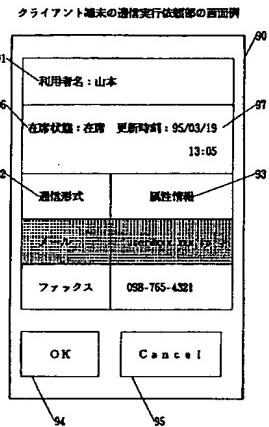


【図4】

クライアント端末の通信形式設定部の処理を示すフローチャート



【図11】

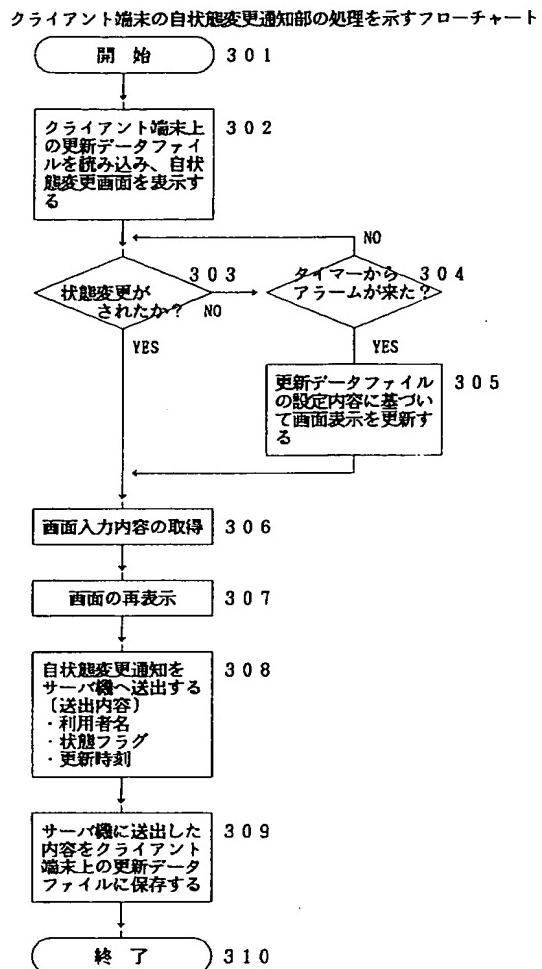


【図5】

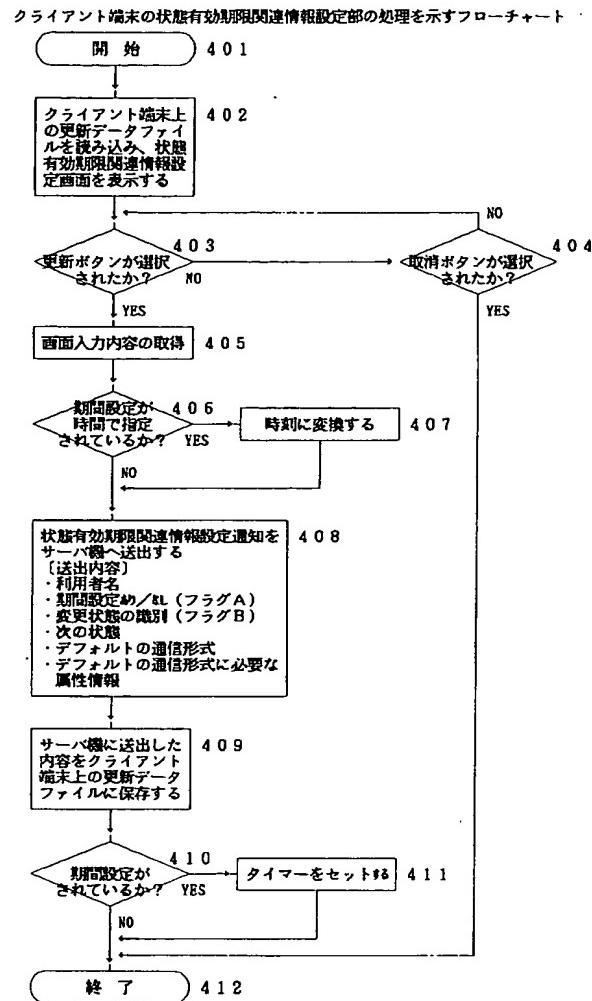
クライアント端末の通信形式設定時の画面例

状態に対する通信形式	
利用者名：山本	
<input checked="" type="radio"/> 在席 <input type="radio"/> 不在 <input type="radio"/> 会議中 <input type="radio"/> 出張中 <input type="radio"/> 電話中	
通信形式	連絡先
メール ファックス	user@xxx.xxx.jp 098-765-4321
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="取消"/>	

【図6】



【図7】



【図8】

クライアント端末の状態有効期限関連情報設定部の画面例

状態有効期限関連情報設定

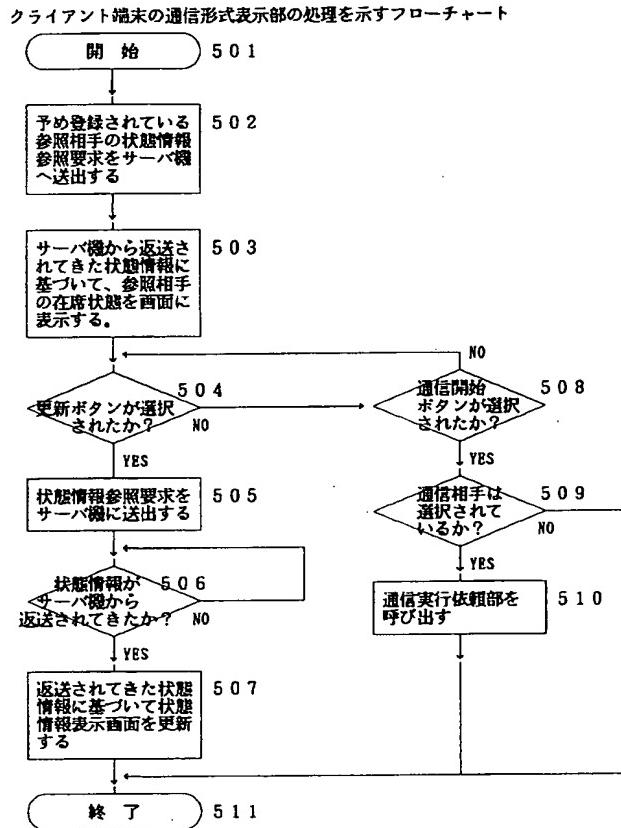
利用者名：山本

<p>期間設定 <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</p> <p><input checked="" type="radio"/>時間で指定 <input type="radio"/>時 10 分後</p> <p><input type="radio"/>時刻で指定 <input type="radio"/>時 <input type="radio"/>分</p>	<p>デフォルトの通信形式</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>通信形式</td> <td>通信先</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>098-765-4320</td> </tr> </table>	通信形式	通信先	電話	098-765-4320						
通信形式	通信先										
電話	098-765-4320										
<p>変更する状態の設定</p> <p><input checked="" type="radio"/>次の状態に変更 <input type="radio"/>直前の状態に変更</p>	<p>次の状態</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>在席</td> <td>不在</td> <td>会議中</td> <td>出張中</td> <td>電話中</td> </tr> </table>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	在席	不在	会議中	出張中	電話中
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>							
在席	不在	会議中	出張中	電話中							
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="取消"/>											

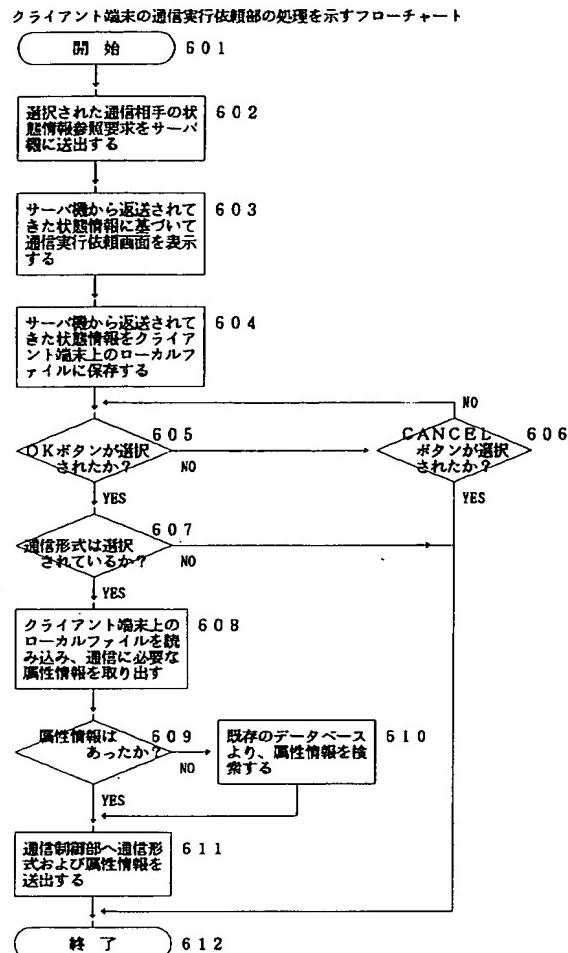
86

87

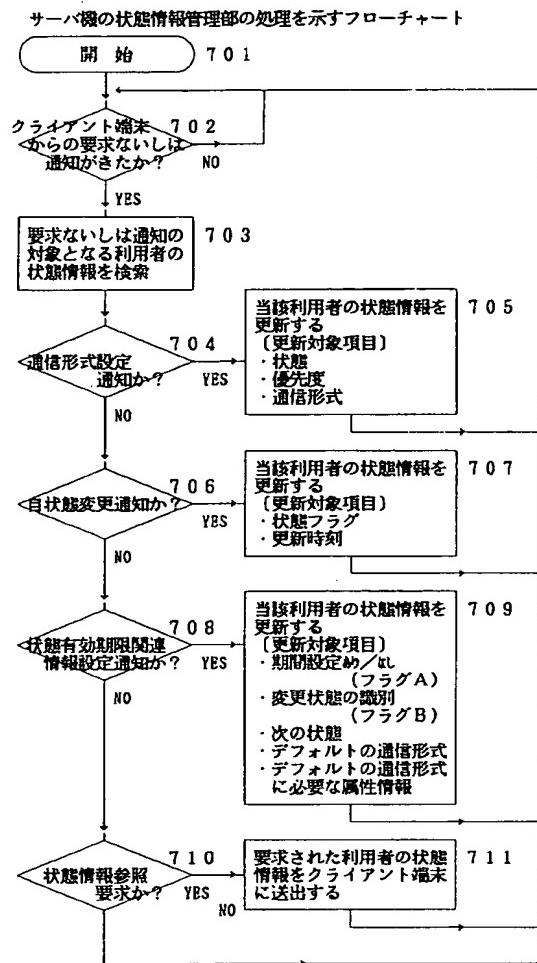
【図9】



【図10】



【図12】



フロントページの続き

(72)発明者 岡田 純代

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(72)発明者 金井 剛

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(72)発明者 福山 訓行

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(72)発明者 真鍋 愛

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内